

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本理念

イノベーションを通じて、人々と社会をエンパワーメントし、社会を変革し豊かにしていく。

② 中長期の経営戦略

1. 楽天エコシステムの構築・拡大

メンバーシップ、データ、ブランドを核に、会員が複数サービスを回遊的・継続的に利用できる環境を整備。

3. フィンテック事業の拡大

クレジットカード、銀行、証券、保険、決済サービス等の顧客基盤
・取扱高拡大。キャッシュレス決済推進。

2. EC・インターネット事業の強化

新規顧客獲得、クロスユース促進、AIコンシェルジュ等活用による流通総額・売上収益の成長。

4. モバイル事業の成長

4G・5G基地局設置拡大、低軌道衛星との直接通信実現によるネットワーク品質向上と契約者獲得加速。

③ 対処すべき課題

① デジタル化への対応

- ・ Society5.0、AI技術の急速な発展に対応し、革新的サービス提供
- ・ BtoC-EC市場26.1兆円規模で今後の拡大余地を活用

② 経営基盤の強化

- ・ 倫理的事業慣行、情報セキュリティ、プライバシー保護の管理体制強化
- ・ ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン、気候変動等のESG課題に取り組み

③ コーポレート・ガバナンス

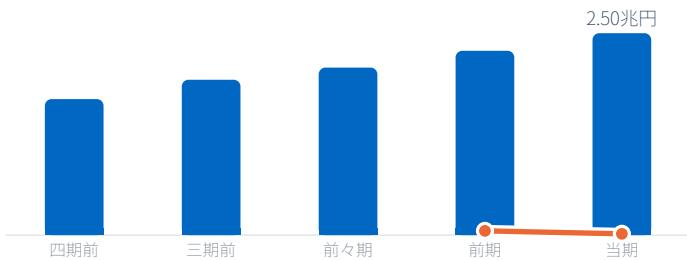
- ・ 監査役会設置会社形態で監視機能強化、社外監査役が過半数
- ・ 執行役員制導入で監督・執行の分離、社内カンパニー制で機動性確保

面接で使えるポイント

- ・ Society5.0時代のデジタル経済で、楽天エコシステムを国内外に拡大し、会員の生涯価値最大化に貢献したい。
- ・ 2024年のキャッシュレス決済比率42.8%達成の先頭で、80%の世界最高水準目指す決済革命に参加したい。
- ・ 携帯電話契約数2億2,764万件の市場で、低軌道衛星との直接通信を実現するネットワーク革新に携わりたい。

証券コード 4755

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2.50兆円営業利益率
0.6%財務健康度
6点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 61.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
851万円

サービス業内 49位/524社

平均年齢
36.0歳

サービス業内 361位/527社

平均勤続
6.3年

サービス業内 276位/527社

女性管理職
33.5%

サービス業内 72位/371社

男性育休
73.3%

サービス業内 172位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 楽天、「Rakuten esports SHOP」初のポップ

